奈良町の
ちょっといいところを
見て知る秋の1週間
ーきたまち・ならまち・高畑・京終・紀寺ー
奈良町見知ル
2023

奈良町見知ル実行委員会 Newsletter No.10

第1回実行委員会 2023年4月21日(金)

今年は3年目、さらにパワーアップして頑張りたい！

3年目の今年はパワーアップして頑張りたい！と意気込む倉橋みどり実行委員長の挨拶に始まった実行委員会。まずは、昨年を振り返りました。

2年目の昨年はチャレンジの年で、オープニングトークの開催、企画参加者との交流、ボランティア募集などたくさんの新しい挑戦を行いました。奈良町見知ルのようにいくつもの企画が集まって開催されるイベントは、いつの間にか始まりいつの間にか終わることもありますが、オープニングトークでみなさんと「始まり」を共有できたことが良かったです。また企画参加者やボランティアとの交流会も開催しました。関係者全体でゆるやかに気持ちをひとつにできたことも2年目の大きな成果です。ぜひ今年も継続していきたいと思っています。加えて、西部公民館「大人の学舎」に奈良町見知ル実行実行委員会が協力し、天理大学の学生に奈良町見知ルのスポットを案内するノウハウを伝授し、学生が受講生にガイドするという企画にも挑戦しました。教えてもらったまちの素晴らしさを、今度は別の誰かに伝えるという循環が生まれたこと自体が、奈良町の魅力を物語ります。この輪をゆるやかに奈良町見知ルを通して広げてゆけたらいいですね。

このように、2年目のチャレンジはどれもすごく良かったので、今年はさらにパワーアップして続けていきたいです。

（左）副実行委員長 藤野さん
（右）実行委員長 倉橋さん

見ル・知ル・巡ル 意外と歩けル奈良町

今年は企画名称を新たにし、特別公開が「見ル奈良町」に、特別イベントが「知ル奈良町」に変わります。そして、新企画として「巡ル奈良町」を行います。昨年、特別イベントの中で行っていたツアー企画の評判がよく、手応えが感じられたので、今年は見る、知る、巡るの三本柱で、進めていきます。

「高畑から京終は遠いイメージがあるけど、歩いてみたらそうでもない」と言うのは高畑在住の実行委員三谷さん。「奈良町は実際に歩くと近い、それを巡ル奈良町で体験してほしい」。初めて来た人も、何度も足を運んだことがある人も、組み合わせによって新たな発見に出会えそうです。ぜひお楽しみに。

聞ク読ム見知ルの実行委員

聞き手：天理大学　杉山 晋平

実行委員会のメンバーに話を聞いてご紹介します！

ならまちで生まれ育った田中 宏一と申します。私は「さんが俥座」というまちづくりの会のメンバーです。

奈良町見知ルは、今までは、どちらかといえば、展示的というイメージで思っていましたが、今回はまちの中を巡るということで、協力いただける方もたくさんいらっしゃるだろうし、また来場者というか、お客さんで来てくれる人も、「人」ということをイメージしてもらえるのではないかと思います。それが充実してくると、地域の人たちも動き出すと思うので、良いきっかけになるのではないか。「巡る」という言葉で、地元の地域を知るもんが関われる可能性も広がったと思います。まぁ、すぐには充実したものはなかなかできないと思うんですけど、徐々に「人と一緒に」というイメージが出てくるんじゃないかなと。また、巡った場所で人を知ってコミュニケーションが生まれると、リピーターさんが出てくるんじゃないかなと、まぁこういうことですよね。「巡る仕掛け」が交流につながるのではと期待しています。

さんが俥座　田中 宏一さん

この４月から奈良町にぎわい課に異動になった高 洋平と申します。以前は観光戦略課におりました。奈良町のことをもっと知っていきたいと思っていますし、もっと紹介していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

みなさん、すごく楽しい雰囲気で話し合いを行われていて、こういう楽しい雰囲気で作っていく企画だったら、面白いものができるんだろうなと感じました。私自身が全然まだわかっていない状態ではあるんですけども、企画を作っていく段階で学んでいく面白さがあると、実行委員会のみなさんがおっしゃっていたので、私もみなさんと一緒に楽しみながら企画を準備してけたら良いなと思っています。

奈良町にぎわい課　高 洋平さん

次回の実行委員会

第２回　2023 年 5 月 19 日（金）
第３回　2023 年 6 月 16 日（金）

奈良町見知ル実行委員会 Newsletter No.10

2023 年 5 月 19 日発行

編集責任者：杉山 晋平（天理大学）
編集担当者：田中 梨絵（天理大学）
連　絡　先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp

© 奈良町見知ル実行委員会 2023